

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-338746

(P2004-338746A)

(43) 公開日 平成16年12月2日(2004.12.2)

(51) Int. Cl.⁷

B 6 5 D 25/02
 A 4 5 C 11/00
 F 2 1 L 4/00
 F 2 1 V 33/00
 // F 2 1 Y 101:02

F I

B 6 5 D 25/02
 A 4 5 C 11/00
 F 2 1 V 33/00
 F 2 1 L 11/00
 F 2 1 L 11/00

Z
 U
 K
 K
 R

テーマコード (参考)

3 E 0 6 2
 3 K 0 1 4

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2003-136605 (P2003-136605)

(22) 出願日 平成15年5月14日 (2003.5.14)

(71) 出願人 000160223

吉田プラ工業株式会社
 東京都墨田区立花5丁目29番10号

(74) 代理人 100094042

弁理士 鈴木 知

(74) 代理人 100071283

弁理士 一色 健輔

(72) 発明者 柚原 幸知

東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉
 田工業株式会社内

Fターム(参考) 3E062 AC02 BA11 BB06 BB09
 3K014 AA01 QA06

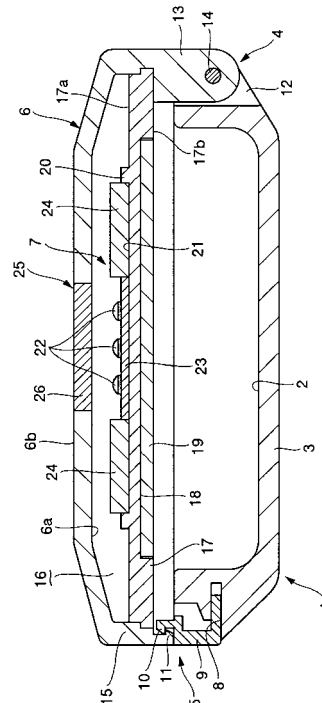
(54) 【発明の名称】 収納ケース

(57) 【要約】

【課題】 光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる収納ケースを提供する。

【解決手段】 ケース本体3を開閉する蓋体6の裏面6aに光源装置7を設けた収納ケース1において、蓋体に部分的に、光源装置の光を蓋体の裏面から表面6bへ向かって透過させる光透過部25が形成されている。蓋体の裏面には、鏡板19と鏡板の周囲に光を透過させるカバー17とが設けられる。光透過部は、透明もしくは半透明な素材で形成された蓋体に部分的に遮光性マスク28が設けられることによって形成される。光源装置は、R G B光源22と、光源の発光をコントロールするコントローラを実装した電子基板23と、これら電子基板および光源に電力を供給するバッテリー24とからなる。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ケース本体を開閉する蓋体の裏面に光源装置を設けた収納ケースにおいて、上記蓋体に部分的に、上記光源装置の光を該蓋体の裏面から表面へ向かって透過させる光透過部が形成されていることを特徴とする収納ケース。

【請求項 2】

前記蓋体の裏面には、鏡板と、該鏡板の周囲に前記光源装置からの光を透過させるカバーとが設けられることを特徴とする請求項 1 に記載の収納ケース。

【請求項 3】

前記光透過部は、透明もしくは半透明な素材で形成された前記蓋体に部分的に遮光性マスクが設けられることによって形成されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の収納ケース。 10

【請求項 4】

前記光源装置は、光源と、該光源の発光をコントロールするコントローラと、これらコントローラおよび光源に電力を供給するバッテリーとからなることを特徴とする請求項 1 ～ 3 いずれかの項に記載の収納ケース。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる収納ケースに関する。 20

【0002】**【従来の技術】**

一般に、各種の容器では、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、塗装などにより着色したり、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、プレート材や転写シートを用いて平面的あるいは立体的に文字や模様などを施したり、模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたり、写真などのシート材を挿入する部分を備えるなどして、容器の表面に装飾を施すようにしていた（例えば、特許文献 1 ～ 8 参照）。 30

【0003】

他方、光源を備えた容器として、特許文献 9 に開示されたものが知られている。しかしながら、この「光源を有する携帯用容器」は、照明という観点のみに着目したものであって、光源によって容器にもたすことが可能な多様な演出効果を有効かつ十分に利用することができていない。詳細には、光源と鏡との関係において、光源は鏡とは別の位置に設けられ、光源は顔などを照らし出すだけであり、また鏡は照らし出された顔を映し出すだけであって、それらの機能を個々に利用しているにすぎなかった。

【0004】

なお、本願出願人は、関連する先行出願として、特願 2002 - 221189 号および特願 2003 - 116289 号を出願している。 40

【0005】**【特許文献 1】**

特開昭 54 - 83961 号公報

【特許文献 2】

実開昭 58 - 179012 号公報

【特許文献 3】

実開昭 58 - 179013 号公報

【特許文献 4】

実開昭 58 - 179014 号公報

【特許文献 5】

実開昭 5 9 - 1 3 1 0 号公報

【特許文献 6】

実開昭 5 9 - 4 5 0 1 7 号公報

【特許文献 7】

特公平 1 - 3 7 2 4 8 号公報

【特許文献 8】

特開平 7 - 8 8 8 9 0 号公報

【特許文献 9】

特開平 1 1 - 1 0 2 6 0 1 号公報

【0 0 0 6】

10

【発明が解決しようとする課題】

上記従来技術で得られる加飾はいずれも、既にあるきたりなものであり、装飾を施すという技術面から見ると、限界があった。

【0 0 0 7】

ここに本発明者は、上述したようなこれまでの加飾技術では考えられていなかった、光源からの光を利用することに着目し、光によって加飾を行うことによって、収納ケースに、今まで見たことのない美的装飾効果を与え得るとの知見を得て、本発明を完成するに至ったものである。

【0 0 0 8】

本発明は上記従来技術の課題に鑑みて創案されたものであって、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる収納ケースを提供することを目的とする。

20

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

本発明にかかる収納ケースは、ケース本体を開閉する蓋体の裏面に光源装置を設けた収納ケースにおいて、上記蓋体に部分的に、上記光源装置の光を該蓋体の裏面から表面へ向かって透過させる光透過部が形成されていることを特徴とする。

【0 0 1 0】

蓋体に部分的に形成した光透過部から光源装置の光を透過させて、蓋体の裏面から表面へ照射するようにして、光透過部によって蓋体の表面に、光を利用した多種多様な加飾を得ることが可能になり、収納ケースに、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせ得る。

30

【0 0 1 1】

また、前記蓋体の裏面には、鏡板と、該鏡板の周囲に前記光源装置からの光を透過させるカバーとが設けられることを特徴とする。ケース本体を開いて蓋体の裏面側を露出させると、鏡板の周囲は、カバーを透過する光源装置からの光によって照らし出され、これら光と鏡板の組み合わせの相乗効果で、収納ケースに光を利用した演出効果を得ることが可能になる。

【0 0 1 2】

また、前記光透過部は、透明もしくは半透明な素材で形成された前記蓋体に部分的に遮光性マスクが設けられることによって形成されることを特徴とする。遮光性マスクによって、透明もしくは半透明の蓋体に部分的に光透過部を形成するようにして、光を利用した多種多様な加飾を簡単に得ることが可能であり、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を容易に生じさせ得る。

40

【0 0 1 3】

さらに、前記光源装置は、光源と、該光源の発光をコントロールするコントローラと、これらコントローラおよび光源に電力を供給するバッテリーとからなることを特徴とする。コントローラで光源の発光をコントロールするようにして、これにより視覚的に訴える、光による多種多様な演出効果が得られ、収納ケースに、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことが可能となる。

50

【 0 0 1 4 】

【 発明の実施の形態 】

以下に、本発明にかかる収納ケースの好適な一実施形態を、添付図面を参照して詳細に説明する。本実施形態にかかる収納ケース 1 は図 1 ~ 図 3 に示すように、各種の収納物を収納する収納空間 2 が形成されたケース本体 3 と、ケース本体 3 の一端にヒンジ 4 を介して回動自在に連結されてケース本体 3 を開閉するとともに、ケース本体 3 の他端にフック手段 5 を介して係脱自在に係合されて当該ケース本体 3 を閉止状態に維持する蓋体 6 と、蓋体 6 の裏面に設けられた光源装置 7 とから主に構成される。

【 0 0 1 5 】

フック手段 5 は、ケース本体 3 に形成された凹所 8 内にスライド自在に設けられたプッシュピース 9 と、プッシュピース 9 に形成されたフック用突起 10 と、蓋体 6 に形成されてフック用突起 10 に係脱自在に係合されるフック部 11 とから構成され、プッシュピース 9 がケース本体 3 内方へ押し込まれることにより、フック用突起 10 がフック部 11 から離脱されて、蓋体 6 を開くことができるようになっている。またヒンジ 4 は、フック手段 5 とは反対側においてケース本体 3 に形成されたヒンジ凹所 12 に、蓋体 6 から垂下させたヒンジブロック 13 が挿入され、ケース本体 3 からヒンジブロック 13 にわたってヒンジピン 14 が挿入されることで構成される。

【 0 0 1 6 】

図示例にあっては、収納ケース 1 として、収納空間 2 に、化粧料やパフが収納される携帯用の化粧料容器が例示されている。しかしながら、収納ケース 1 としては、このような化粧料容器に限らず、宝石や装身具など、いかなる収納物を収納するものであっても良いことはもちろんである。

【 0 0 1 7 】

蓋体 6 について説明すると、蓋体 6 の周縁部には、ケース本体 3 側へ向かって垂下させて外周壁 15 が形成され、これにより蓋体 6 の裏面 6a には、外周壁 15 で取り囲んで組み付け用の凹部 16 が区画形成される。この組み付け用凹部 16 には、これを覆って封鎖するカバー 17 が図示しない係脱機構によって着脱自在に設けられる。そして、蓋体 6 の裏面 6a と向かい合う当該カバー 17 の裏面 17a に、光源装置 7 が取り付けられる。

【 0 0 1 8 】

カバー 17 は本実施形態にあっては、光源装置 7 からの光がこれを透過して外部に照射されるように、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材によって形成される。カバー 17 の素材はこの他、ガラスなどであってもよい。このカバー 17 の表面 17b には、蓋体 6 の外周壁 15 の内周寸法よりも小さな外形寸法で凹所 18 が形成され、この凹所 18 には、外周壁 15 との間に隙間を隔てて鏡板 19 が取り付けられる。従って、鏡板 19 の周囲は、組み付け用凹部 16 内に照射されてカバー 17 を透過する光源装置 7 からの光によって照らし出されるようになっている。

【 0 0 1 9 】

他方、カバー 17 の裏面 17a には、鏡板 19 で隠蔽される位置に環状リブ 20 が形成され、光源装置 7 はこの環状リブ 20 で取り囲まれた窪み部 21 に配置される。光源装置 7 は、蓋体 6 の裏面 6a に向けて配置される R G B 光源 22 と、この R G B 光源 22 の各色の発光量をコントロールするコントローラを構成する電子部品が実装された電子基板 23 と、これら電子基板 23 およびこれを介して R G B 光源 22 に電力を供給するボタン型電池などのバッテリー 24 とから構成される。R G B 光源 22 は電子基板 23 上に直接実装されている。

【 0 0 2 0 】

R G B 光源 22 としては、L E D や有機エレクトロルミネセンス (E L) 素子など、従来知られている各種のものを採用することができる。コントローラを構成する電子部品には、R G B 光源 22 の発光をコントロールするプログラミングが書き込まれた I C チップ等の制御素子が含まれ、図示しないスイッチによってバッテリー 24 から電力が供給されることにより、プログラミングに従って R G B 光源 22 を発光させる。

【0021】

R G B 光源 2 2 の発光のさせ方としては、例えば全体の発光量を増減させてゆっくりと明滅させながら、この明滅の間に、赤、緑および青の発光割合を順次変化させてさまざまな色合いで発光させたり、あるいは短い時間間隔で明滅させながらそのたびにさまざまな色に変えて発光させるなど、どのようなプログラミングを制御素子に格納してもよい。光源としては、R G B 光源 2 2 に限らず、単色光の光源であってもよいことはもちろんである。

【0022】

そして特に本実施形態にあつては、蓋体 6 は、そのおおよそ全体が遮光性の合成樹脂材で形成される一方で、部分的に蓋体 6 の裏面 6 a から表面 6 b に向かって R G B 光源 2 2 の光を透過させる光透過部 2 5 が形成される。この光透過部は本実施形態にあつては、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性を示す透光部材 2 6 で形成される。

10

【0023】

この透光部材 2 6 は例えば、合成樹脂製の蓋体 6 を射出成形する際に、あらかじめこれを成形型内に取り付けておき、射出される樹脂と一体化するインサート成形などの方法で蓋体 6 に設けられる。特にこの透光部材 2 6 は、文字やマークなどのほか、所望のデザインに従ってさまざまな形態で形成することが可能であり、これを射出成形などによって蓋体 6 に一体に取り付けることにより、蓋体 6 に任意形状の光透過部 2 5 が形成される。

【0024】

次に、上記構成を備える本実施形態の収納ケース 1 の作用について説明する。図示しないスイッチを入れると、バッテリー 2 4 から R G B 光源 2 2 や電子基板 2 3 に電力が供給され、R G B 光源 2 2 は、制御素子に書き込まれたプログラミングに従って、明滅などしながら多種多様な色合いや明るさで発光する。この R G B 光源 2 2 の光は、蓋体 6 の光透過部 2 5 を介して外部へ照射され、蓋体表面 6 b に光透過部 2 5 で表されている文字やマーク、模様などを様々な態様で照らし出す。また、蓋体 6 を開いている場合には、カバー 1 7 を透過する R G B 光源 2 2 の光によって、鏡板 1 9 の周囲も様々な態様で照らし出される。スイッチを切ると、R G B 光源 2 2 は消灯される。

20

【0025】

このように以上説明した本実施形態にかかる収納ケース 1 にあつては、蓋体 6 に部分的に形成した光透過部 2 5 から R G B 光源 2 2 の光を透過させて、蓋体 6 の裏面 6 a から表面 6 b へ照射するようにしたので、光透過部 2 5 によって蓋体 6 の表面 6 b に、光を利用した多種多様な加飾を得ることができ、収納ケース 1 に、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

30

【0026】

また、蓋体 6 の裏面 6 a に、鏡板 1 9 と、鏡板 1 9 の周囲に R G B 光源 2 2 の光を透過させるカバー 1 7 とを設けたので、図 3 に示すようにケース本体 3 を開いて蓋体 6 の裏面 6 a 側を露出させると、鏡板 1 9 の周囲は、カバー 1 7 を透過する光源装置 7 からの光によって照らし出され、これら光と鏡板 1 9 の組み合わせの相乗効果で、収納ケース 1 に光を利用した演出効果を得ることができる。

40

【0027】

さらに、光源装置 7 を、R G B 光源 2 2 と、R G B 光源 2 2 の発光をコントロールするコントローラを搭載した電子基板 2 3 と、これら電子基板 2 3 および R G B 光源 2 2 に電力を供給するバッテリー 2 4 とから構成し、コントローラで R G B 光源 2 2 の発光をコントロールするようにしたので、これにより視覚的に訴える、光による多種多様な演出効果を得ることができ、収納ケース 1 に、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことができる。

【0028】

図 4 および図 5 には、光透過部 2 5 が形成される蓋体 6 の変形例が示されている。図 4 および図 5 では、いずれにあつても、蓋体 6 は無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の

50

透光性を有する合成樹脂材で形成される。そして図 4 にあっては、部分的に打ち抜き部 27 などが形成された不透明のシート材や樹脂成形部品などの遮光性マスク 28 を、蓋体 6 の表面 6 b にインサート成形によって一体的に設け、当該遮光性マスク 28 の打ち抜き部 27 によって蓋体 6 に光透過部 25 を形成するようにしたものである。他方、図 5 にあっては、蓋体 6 の裏面 6 a に、不透明塗料を塗装することで遮光性マスク 28 を形成する一方で、一部塗装をしない部分 29 を設定し、この塗装をしない部分 29 を利用して蓋体 6 に光透過部 25 を形成するようにしたものである。

【0029】

これら変形例にあっても、上記実施形態と同様の作用・効果を奏することはもちろんである。特に、これら変形例にあっては、蓋体 6 に光透過部 25 を形成する際、蓋体 6 全体を 10
そもそも透明などの透光性をもって形成するとともに、シート材などの遮光性マスク 28 を用意し、これを単に蓋体 6 に付着させるだけで光透過部 25 を形成することが可能で、光を利用した多種多様な加飾を簡単に施すことができ、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を容易に生じさせることができる。

【0030】

なお、蓋体 6 への遮光性マスク 28 の形成については、デザインに従って打ち抜いた金属板の装着や、スパッタリングなどの方法によってもよいことはもちろんである。

【0031】

【発明の効果】

以上要するに、本発明にかかる収納ケースにあっては、光を利用した多種多様な加飾を得 20
ることができ、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明にかかる収納ケースの好適な一実施形態を示す、蓋体を閉じた状態の斜視図である。

【図 2】図 1 の収納ケースの側断面図である。

【図 3】図 1 の収納ケースの蓋体を開いた状態の斜視図である。

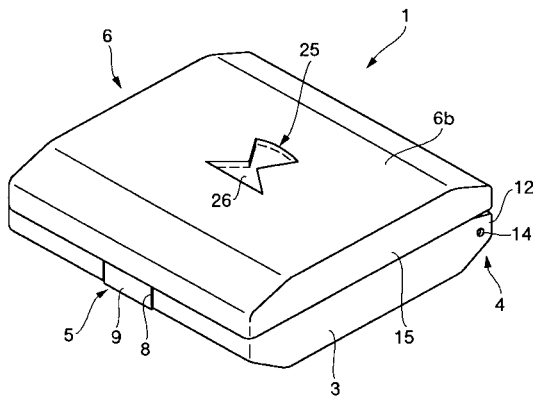
【図 4】本発明にかかる収納ケースの変形例を示す側断面図である。

【図 5】本発明にかかる収納ケースの他の変形例を示す側断面図である。

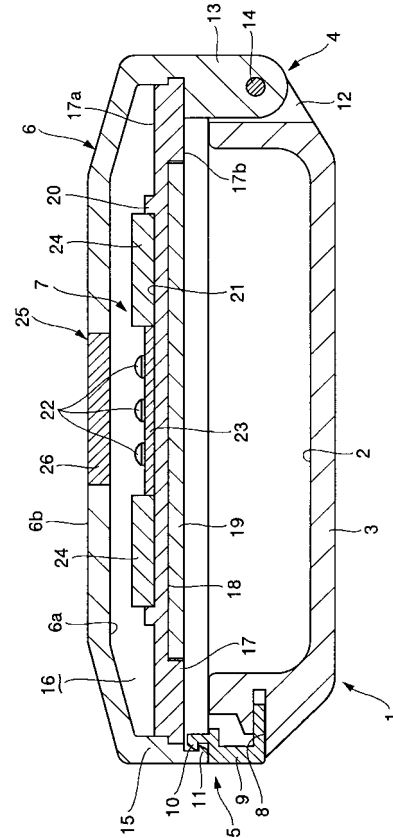
【符号の説明】

1	収納ケース	3	ケース本体
6	蓋体	6 a	蓋体の裏面
6 b	蓋体の表面	7	光源装置
17	カバー	19	鏡板
22	R G B 光源	23	電子基板
24	バッテリー	25	光透過部
28	遮光性マスク		

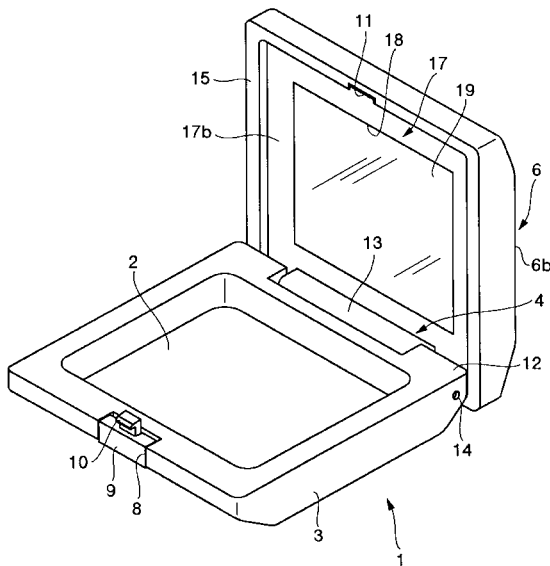
【図 1】



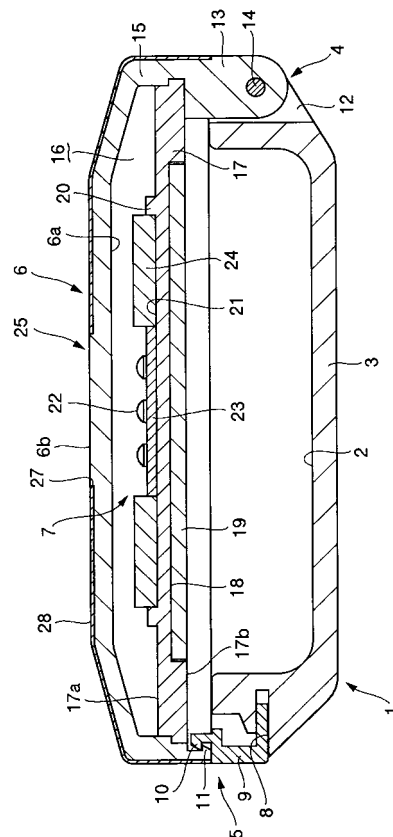
【図 2】



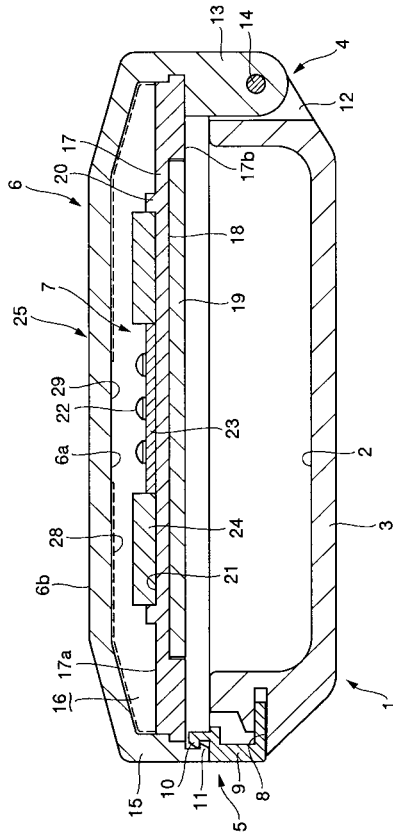
【図 3】



【図 4】



【 図 5 】



フロントページの続き(51)Int.Cl.⁷

F 2 1 Y 105:00

F I

F 2 1 Y 101:02

F 2 1 Y 105:00

テーマコード(参考)